

# 図書館だより

87



## 中央図書館に データベース できました！

**専用** 席が

新聞記事や百科事典などのデータベースが無料で利用できます。調べものにぜひご活用ください。

※データベースの専用席では、西東京市図書館が契約している商用データベースおよび国立国会図書館が提供する国立国会図書館デジタルコレクション・歴史的音源のサイトの利用が可能です。ブラウザ等による検索はできませんのでご注意ください。

60

**分保証の利用時間  
集中して調べられます**

次にお待ちの方がいない場合は延長も可能、再申し込み不要で続けて使えます。



7

**種類のデータベース  
新聞記事も、法律情報も**

- ・D1-Law.com
- ・ジャパンナレッジ Lib
- ・朝日新聞クロスサーチ
- ・日経テレコン 21
- ・国立国会図書館デジタルコレクション
- ・歴史的音源
- ・官報情報検索サービス



年

**年齢制限なし  
宿題や就職活動にも**

西東京市図書館の利用カードや公的な身分証明書があればどなたでも申し込みます。



印

**刷可能 (有料)  
白黒でもカラーでも**

貴重書・絶版本が閲覧できる『国立国会図書館デジタルコレクション』も含め、お調べしたデータベースの内容は有料で印刷することができます※。



※各データベースの提供元が許諾する範囲内となります。

詳しくは図書館ホームページをご確認、または中央図書館カウンターまでお尋ねください。



★声の広報をお届けしています。

お問い合わせの方でご希望の方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(Tel.042-421-4545)へお問合せを。

# 中央図書館データベース 専用 席で使えるデータベース



## ●D1-Law.com

法令、判例、文献情報等を検索できる法情報の総合データベースです。



## ●ジャパンレッジLib

辞事典、叢書、雑誌が検索できる辞書・事典のデータベースです。



## ●朝日新聞クロスサーチ

明治12年の朝日新聞創刊号から今日までの記事・広告を検索できる新聞記事データベースです。



## ●日経テレコン21

日本経済新聞、企業情報、業界レポート等を検索できるデータベースです。



## ●国立国会図書館デジタルコレクション

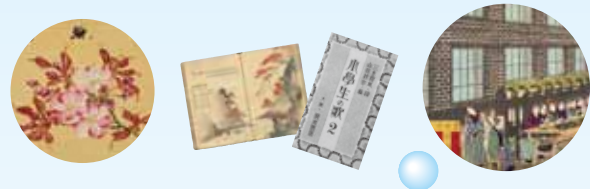
国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が検索できるデータベースです。

## ●歴史的音源

国内で製造されたSP盤等に録音された様々なジャンルのデジタル化音源を聴くことができるデータベースです。

## ●官報情報検索サービス

昭和22年5月3日から直近までの官報の内容を、日付やキーワードを指定して検索できるデータベースです。



## データベース専用席を使うには

- 1 中央図書館にて、「データベース専用席利用申込書」に記入
- 2 西東京市図書館利用カードまたは身分証明書（マイナンバーカードなど）を提示
- 3 職員がトップ画面まで準備し、席へ案内

# がんばりました 一日図書館員



本の装備



カウンター



本の配架

今年は3年ぶりの開催となり、全館で小学生57名・中学生9名の子どもたちが一日図書館員を体験しました。一日図書館員は職員と同じ「としょかん」というロゴの入ったエプロンをつけて仕事をします。自動返却機に返却された本の処理、配架、本の装備など、様々な仕事をしました。また、普段は見ることでできない、ブックポスト・閉架書庫・事務室などでも、職員と一緒に仕事をすることができました。

子どもたちの顔は真剣そのもの。大変な仕事も終始にこやかに体験していました。

一日図書館員のみなさん、ありがとうございました。

## ～ハンディキャップサービスのご案内～

コロナ禍で中止していた**対面朗読**を一部再開\*しています。

\*再開している図書館…中央図書館、谷戸図書館、保谷駅前図書館

「対面朗読」…活字による読書に支障のある市内在住の方を対象に、図書館所蔵の本・雑誌・新聞や、お手持ちの資料を音訳者が対面で朗読します。手紙や電気製品の説明書等、対応できる内容についてはご相談ください。



その他、活字の資料を点字版やデージー版などにしてほしいなど、「文字を読むこと」でお困りでしたら、谷戸図書館 (Tel 042-421-4545) までお問い合わせください。



# にんにん西東京

## 第34回 「町で買う煙草 手軽な郷土愛」

今回のタイトルは、昭和35年に保谷町が募集し入選した「たばこ消費税増収運動」の標語です。この運動はPTAと連携して、見込んだ税額より上回った収入額をその運動の成果として、教育施設整備資金に充当するというものでした。

現在もたばこ税は自治体の歳入になります  
が、新しく設けられた昭和29年当初は、町の  
広報紙には毎号のように「タバコは町内で」  
といったお知らせが掲載されています。

昭和29年5月の毎日新聞には、「タバコ消  
費税異聞 地もとで買って下さい」田無町で  
躍起の宣伝」の記事が、写真付きで掲載され  
ています。都心に通勤する愛煙家に向け、町  
の税収をなんとか増やすために呼びかけたも  
のです。

たなし町報では、たばこの銘柄ごとの税収  
額や、贈答用タバコの販促のためタバコ業者  
が大歌舞伎観劇の抽選券を付けて発売してい  
ることなども知らせています。

ちなみに、昭和25年の保谷町報創刊号には、  
町民の今和次郎さん（民俗学・考現学者）が  
「町制記念品として灰皿をもらった」と書い  
ています。そして、昭和31年の保谷町報記事  
「タバコと税金」の書き出しは、「朝夕の憩の



西東京市図書館キャラクター  
西都右京くん

一時の一ぷくがうまければあなたの健康はま  
づ上上です。」となっています。



▶「たばこ消費税増収運動」入選作品

自治体の広報紙は、発行時には住民に情報  
を伝えることを目的にしているわけですが、  
後から見返すと、この地域の人々の暮らしを  
伝えてくれる重要な資料になります。行財政、  
土木事業の発展、ライフラインや公衆衛生の  
進歩、保育や教育、子どもから老人までその

時この町に暮らす人にとって何が問題だった  
のか、文化やスポーツまで幅広い歴史をわか  
りやすく紹介してくれます。  
西東京市誕生以前は、「たなし市報」と「市  
報ほうや」、昭和42年の市制施行以前は、「田  
無町報」と「保谷町報」があり、縮刷版で読  
むことができます。



▶広報保谷町報縮刷版



▶たなし町報縮刷版



未掲載の号や乱丁もあり、当時の印刷のま  
ま縮小されているので少々読みづらいですが、  
時代が感じられます。お米の配給、ゴミ箱売  
りの詐欺、害虫駆除薬剤の空中散布、赤電話  
の新設、メートル法に変わるなどなど、雑誌  
のように気楽にご覧いただけます。

# 令和3年度の実績報告 (令和4年3月31日現在)

詳細については「令和3年度西東京市図書館事業概要」をご覧ください。図書館ホームページにも掲載しています。

## 1 基本指標

※市人口は、205,762人(令和4年3月31日現在)

① 市民一人当たりの蔵書(図書)冊数(蔵書冊数 ÷ 市人口)	3.8冊
② 登録率(市内在住個人登録者数 ÷ 市人口)	12.76%
③ 一日平均貸出数(各図書館の一日平均の合計)	5,769冊
④ 蔵書回転率(個人図書貸出数 ÷ 蔵書冊数)	1.98回
⑤ 市民一人当たりの貸出数(個人貸出数 ÷ 市人口)	8.15冊
⑥ 登録者一人当たりの貸出数(個人貸出数 ÷ 個人登録者数)	48.4冊

※資料形態を問わず資料単位は「冊」で表記する。

## 2 登録者数

(人)

西東京市	26,243
広域圏(7自治体)	3,616
その他	4,802
合計	34,661

※登録者数は有効登録者数。

登録者のうち、当該年度(4月から翌年3月までの1年間)に貸出回数が1回以上ある利用者数

## 3 蔵書数

資料種別		所蔵数
図書	一般図書(冊)	492,325
	児童図書(冊)	201,052
	地域行政資料(点)	91,677
雑誌(タイトル数)		701
CD・カセットテープ(点)		20,692

## 4 貸出数

資料種別	貸出数
一般図書(冊)	1,039,433
児童図書(冊)	517,952
雑誌(冊)	81,382
CD・カセットテープ(点)	37,881
合計	1,676,648

## 5 予約数

(件)

予約方法	予約数
カウンター	43,248
館内OPAC	23,026
WebOPAC	626,089
未所蔵予約	27,550
合計	719,913

※館内OPACとは、館内利用者用検索機のこと

## 図書館員の本棚

### 『チェスト!ーがんばれ、薩摩隼人ー』

登坂恵里香/原作 横山充男/著 岡本順/絵  
ポプラ社 2007年  
978-4-591-10022-6



「チェスト!」とは鹿児島の方で「それ行け!」と気合を入れるときの掛け声です。鹿児島のかつかの小学校では、毎夏4・5・6年生の希望者がかつ厳しい検定を合格した子ども達が錦江湾横断遠泳に挑みます。桜島から対岸の鹿児島市の海岸まで約4.2kmを、先生や保護者を乗せた漁協の船に伴走されながら、二列に隊列を組んで子ども達が泳ぐ、50年以上続く伝統行事です。薩摩剣術を習い、明るく元気、でもカナヅチであることを友人に隠している隼人。過敏性腸症候群でストレスを感じるとすぐトイレに駆け込む雄太。東京から転向してきて何故だ

かつっぱって同級生となじもうとしない智明。この3人を中心に、清水原小学校6年2組の子どもたちが、それぞれの思いと様々な事情を背負いながらも小学生最後の遠泳に挑みます。クラスの中にはじめめもあり、大人の事情でひどく心を傷つけられている子もいて、気安く「がんばれ!」とは言えない状況。それでも一人ではどうにもならないことも「チェスト!」の掛け声とともに、みんなが「つらい時ほど、自分のことより人のこと」を実践できるようになっていきます。そんな子ども達の姿に胸を熱くさせられるお話です。(図書館員O)





## 妖精の森

谷戸第二小学校6年

図書館は、立ち止まったときに還ってくることのできる場所であり、そして、そこから再び前に進んでいける場所である。コロナ禍を経て、そのことをつくづく実感している。

新型コロナウイルスが蔓延し始めた2020年以降、都心部の図書館や大型書店からは足が遠のいてしまった。昨年の秋ごろから「苦肉の策」として地元・西東京市の図書館を再び利用し始めたが、今となっては欠かすことのできない、私の生活の一部となっている。

何より有難いのはレファレンスサービス(調べもの相談)である。「道德の教科化」をめぐる政策について調べるなかで、必要な情報を見つけ出すのに困っていたところ、まず文献を読んでキーワード(このときは「教育再生実行会議」)を特定し、検索の仕方を工夫して「ノイズ」を減らす方法を教えていただき、目から鱗が落ちる思いがした。インターネットで何でも調べられる気になっていたが、必要な情報を選び出し、芋づる式に文

献を探す作業にもやはり知識が必要であること、そしてその知識は、図書館の膨大な蔵書に支えられていることを、改めて認識した。

この度、改修工事が終わった中央図書館に数年ぶりに足を運んでいる。かつて「怪談レストラン」シリーズを求めて立ち寄っていたこの場所に、今度は道德教育の歴史を調べるために通っているというのは、なんだかとても不思議である。しかし、考えてみれば、図書館があらゆる世代、あらゆる個人に開かれており、その姿を変えずに地域に存在し続けているからこそ、私たちはいつでも知の集積へと立ち還ることができるのである。そして、その集積は、司書や職員の皆様が地道に整備し、利用者がリクエストや寄贈を積み重ねてきた成果にほかならない。

図書館は、常に変わずそこにあり、常に変わり続けてもいる。だからこそ、私たちは図書館に立ち寄り、過去と現在、現在と未来を繋ぐヒントを得ることができるのだろう。

利用者エッセイ  
わたしと  
図書館  
三津田 悠